

## 3.5.4. 診療科部門別収支の把握状況・把握方法

上記収支計算結果の判断根拠の確認、また調査対象病院における診療科部門別収支算定状況の把握のため、調査対象全病院における診療科部門別収支把握状況、方法について確認した。

図表 3-28 病院における診療科部門別収支の把握状況

	N= 64	
	N	%
・ 部門別収支を把握している	10	16%
・ (一部未対応だが) 部門別収支を把握している	27	42%
・ 把握していない	19	30%
・ どちらとも言えない	8	13%

回答病院（64 病院）において診療科部門別収支を「把握している」「部分的には把握している」病院は、37 病院（58%）となった。「どちらとも言えない」とする 8 病院の理由としては、「共有部門の配賦等が確実なものとは言えない」等、実施はしているが正確ではない、と認識している病院がほとんどであり、結果的に 70%程度の病院が診療科部門別収支の把握を試みているという結果となった。

また、「把握している」「部分的に把握している」37 病院についてその手段を照会したところ、「病院の管理会計システム」が 19 病院、「その他の手段」（エクセルで独自の集計、既存の会計システム、コンサル会社提供システム、等）が 18 病院であった。

さらに「3.5.4 診療科部門別収支の把握状況・把握方法」と「3.5.3 診療科部門別収支計算の結果検証」をクロス集計した結果を以下に示す<sup>4</sup>。

図表 3-29 調査結果との一致状況と病院における診療科部門別収支把握状況

	入院・外来の比率		入院 診療科別		外来 診療科別	
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致
診療科部門別収支を把握している (n=10)	8	2	6	4	7	3
(一部未対応だが) 診療科部門別 収支を把握している (n=27)	16	11	13	14	15	12
把握していない (n=19)	13	6	12	7	11	8
どちらとも言えない (n=8)	5	3	1	7	1	7

(注) “一致している” もしくは “ほぼ一致している” と回答した場合を「一致」、それ以外の場合を「不一致」とした。

各病院における把握の程度と、調査結果の一致状況には明確な関係が得られなかった。なお、上記の他、調査全般についての意見等も調査した。これらについては、上記質問に対する回答の詳細とともに、資料編（資料 8）に添付する。

<sup>4</sup> 詳細は、資料8-3～8-5 のとおり。